

令和6年度

自己評価書及び学校関係者評価書

学校番号：34505

札幌市立厚別中学校

I 学校評価の目標

『目的意識をもって自ら学ぶ生徒 精力強く挑戦し続ける生徒 仲間と共に磨きあうことができる生徒』

2 本年度の重点方針

【学ぶ力の育成】

わかる、できる、楽しい授業づくり及び言語活動の充実を基盤とした表現力を高める指導の推進。

【豊かな心の育成】

情操豊かな生徒の育成に向けた生徒指導の充実と諸活動の推進。

【健やかな身体】

健全な「食事」「睡眠」「運動」の習慣化と、望ましい基本的な生活習慣の定着に向けた啓発活動の推進。

【信頼される学校の創造】

地域・保護者及び関係諸機関との連携の強化。

自己評価結果

A : 80%以上

B : 65%以上80%未満

C : 65%未満

・そう思う…4 ・ややそう思う…3 ・あまりそう思わない…2 ・そう思わない…1 で計算した達成度 (%)

分野	評価項目	自己評価			学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策		自己評価の適切さ	改善策の適切さ
学ぶ力の育成	1 本校は、基礎・基本の定着にむけて、生徒が「分かる・できる・楽しい」と感じられる授業構築に向けて、改善や工夫に努めているか。	83.4%	A-	生徒が「分かる・できる・楽しい」と感じられるよう、指導と評価の一体化を意識した実践について今後も研修を継続する。	A	A
	2 本校は、思考力・判断力・表現力などを高めるために、自ら疑問や課題をもち、主体的に解決する学習の充実に努めているか。	89.4%	A	日常的な教科内の研修に加え、教科横断的な実践交流を積み重ねながら、課題探究的な学習活動の工夫を継続する。		
	3 本校は、生徒に将来の見通しをもたらしながら、進路に関して適切な支援・指導に努めているか。	90.5%	A+	将来の自分の生き方を見通しながら、中学校卒業後の進路について真剣に考えられるよう、3年間のカリキュラムについて改善を図る。		
学校関係者評価者による意見		生徒や保護者がより成果を実感できることが、学ぶ力の育成では重要である。先生方が様々な研修を繰り返しながら進めている内容が、生徒や保護者に伝わり、浸透していくことを今後も期待したい。				
豊かな心の育成	4 本校は、生徒との関わりを大切にして、生徒理解に努めているか。	90.3%	A+	日常的なコミュニケーションを大切にしながら生徒に寄り添い、家庭との連携を図りながら、一人一人が自らの課題に向き合えるよう支援する。	A	A
	5 本校は、社会や学校のルールとマナーを守ることの大切さについて共通理解し、生徒の支援・指導に努めているか。	83.4%	A-	生徒の主体的な判断を大切にしながら、社会や学校のマナールールを意識させる支援・指導について共通理解を深めていく。		
	6 本校は、思いやりの心を育て、いじめを許さず、命の大切さについて生徒が意識できる支援・指導に努めているか。	86.2%	A	道徳の学習の中で系統的に支援・指導することに加え、日常の授業や特別活動、行事に向かう取組などを通じて、いじめを許さず、命の大切さについて考える機会を増やしていく。		
学校関係者評価者による意見		教職員と生徒、そして保護者が、日常的にいい関係を構築し、進めていることがよく伝わっている。今後もいい関係を構築していくことを期待したい。				
健やかな体の育成	7 本校は、生徒の体力や運動能力を維持・向上できるよう、スポーツに親しんだり、運動する習慣を身につけたりするための支援・指導に努めているか。	80.7%	A-	保健体育の授業や部活動、体育的行事などを通じて、運動することの楽しさを実感させるとともに、運動する習慣の定着を図る支援・指導を継続する。	A	A
	8 本校は、生徒の健康の保持・増進を目指し、食事や睡眠などの基本的生活習慣の向上を図る支援・指導に努めているか。	80.7%	A-	給食指導を中心自分自身の食生活へ目を向けるとともに、睡眠時間を確保するための自己管理能力を育む支援・指導を工夫する。		
学校関係者評価者による意見		町内会とのかかわりの中で、1年DIG研修などの取組で生徒と会うたびに、素晴らしい人間性を感じることができる。生活習慣については、忙しくなる中学生が見通しをもって行動し、勉強を中心に様々なことを両立できるよう、学校と家庭が連携して進めたいけることを期待したい。				
信頼される学校の創造	9 本校は、学校行事、学級活動、生徒会活動、部活動などにおいて、生徒が楽しく充実した学校生活を送ることができるよう努めているか。	86.2%	A	コロナ禍以前の学校行事が実施できるようになったので、各行事の目的を改めて大切にしながら、充実した活動になるよう工夫する。	A	A
	10 本校は、学校の教育方針や様々な情報について、保護者や地域へ分かりやすく発信しようと努めているか。	89.0%	A	保護者への周知が必要な情報は文書で確実に通知し、さらに学校だよりと学校ホームページを活用しながらタイムリーな情報を保護者と地域に発信する。		
	11 本校は、朝読書の時間を活用して、読書習慣の定着や、生徒が落ち着いて授業に取り組める環境づくりに努めているか。	84.8%	A-	朝読書の時間を活用し、読書をする習慣の定着を図りながら、生徒が集中力を高めたり、知見を広げたりする環境を整えていく。		
学校関係者評価者による意見		学校を公開する機会が増え、保護者や地域が学校での様子を知ることができている点は大いに評価できる。また、学校と町内会が連携して取り組む活動は、他ではなかなか見られない活動であり、そのおかげで様子もわかる。今後も学校・家庭・地域が連携する様々な取組が継続していくことを期待したい。				